第４期埼玉県がん対策推進計画　ロジックモデル・指標（案）

R5①がん対策推進協議会【資料5】

分野別施策	個別施策	中間アウトカム					最終アウトカム				
			指　標		策定時	目　標	データソース		指　標	策定時	目　標	データソース
がん予防	適切な生活習慣の普及・啓発	生活習慣が改善	1	食塩摂取量の平均値	10.3g/日 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査	がん罹患率減少	①　がんの年齢調整罹患率	（胃・男）57.2 （胃・女）20.8 （胃・総数）37.7 （大腸・男）74.3 （大腸・女）44.5 （大腸・総数）58.8 （肺・男）58.6 （肺・女）23.5 （肺・総数）39.9 （子宮頸）13.1 （乳）101.7 【令和元年】	減少	全国がん登録
			2	野菜摂取量の平均値	307g/日 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
			3	果物摂取量の平均値	101g/日 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
			4	日常生活における歩数	(男・20-64歳)7,634歩/日 (女・20-64歳)6,340歩/日 (男・65歳以上)5,254歩/日 (女・65歳以上)4,297歩/日 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
			5	運動習慣者の割合	(男・20-64歳)15.9% (女・20-64歳)30.4% (男・65歳以上)56.5% (女・65歳以上)56.8% 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
			6	睡眠で休養がとれている者の割合	80.7% 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
			7	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	(男)10.0% (女)8.8% 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
			8	喫煙率	14.4% 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
			9	受動喫煙の機会を有する者の割合	（家庭）6.2% （職場）19.0% （飲食店）17.3% 【令和４年】	検討中	国民健康・栄養調査					
	感染症対策	感染リスクが減少	指標設定なし									
がん検診	受診率向上対策	受診率が向上	10	検診受診率	（胃がん・男）42.3% （胃がん・女）33.1% （肺がん・男）48.6% （肺がん・女）43.4% （大腸がん・男）44.8% （大腸がん・女）41.3% （乳がん）42.5% （子宮頸がん）38.2% 【令和4年】	60%	国民生活基礎調査	がん死亡率減少	②　がんの年齢調整死亡率（75歳未満）	男81.3 女56.2 総数68.2 【令和3年】	減少	人口動態統計
	検診精度の向上対策	精度の高い検診が実施	11	精密検査受診率	（胃・X線・50-74歳）75.5% （胃・内視鏡・50-74歳）96.2% （肺・40-74歳）84.1% （大腸・40-74歳）69.3% （子宮頸・20-74歳）63.2% （乳・40-74歳）86.3% 【令和2年】	90%	がん検診結果統一集計（県調べ）		③　がん種別年齢調整死亡率（75歳未満）	（胃・男）9.4 （胃・女）3.7 （胃・総数）6.5 （大腸・男）13.0 （大腸・女）6.8 （大腸・総数）9.9 （肺・男）18.5 （肺・女）5.4 （肺・総数）11.8 （子宮※）5.3 ※子宮頸、子宮体 （乳）11.0 【令和３年】	減少	人口動態統計

分野別施策	個別施策	中間アウトカム					最終アウトカム				
			指　標	策定時	目　標	データソース		指　標	策定時	目　標	データソース
がん医療	がん医療提供体制の充実	質の高いがん治療が提供	12 がんの診断・治療全体の総合的評価（平均点または評価が高い割合）	72.0%	全国平均以上	患者体験調査					
			13 主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	57.6%	全国平均以上	患者体験調査					
			14 医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	69.5%	全国平均以上	患者体験調査					
	緩和ケアの提供	患者・家族のQOLが向上	15 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合	36.9%	全国平均以上	患者体験調査	がん生存率向上	④ がん種別５年生存率	－	上昇	全国がん登録
			16 心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	25.4%	全国平均以上	患者体験調査					
			17 がん診断～治療開始前に病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	72.6%	全国平均以上	患者体験調査					
			18 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	46.0%	全国平均以上	患者体験調査					
			19 医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	－	全国平均以上	患者体験調査	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	⑤ 現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	72.4%	全国平均以上	患者体験調査
がんとの共生	相談支援及び情報提供の実施	相談支援及び情報提供が充実	20 がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	72.0%	全国平均以上	患者体験調査					
			21 ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	26.3%	全国平均以上	患者体験調査					
			22 がん診断～治療開始前に病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	72.6%	全国平均以上	患者体験調査					
	積極的な患者支援の実践	患者支援が充実	23 望んだ場所で過ごせたがん患者の割合	－	全国平均以上	遺族調査					
			24 がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	27.7%	全国平均以上	患者体験調査					
	就労支援の推進	治療と仕事の両立ができる	25 がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	－	全国平均以上	患者体験調査					
			26 治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	－	全国平均以上	患者体験調査					
		アピアランスケアが受けられる	27 外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合	24.4%	全国平均以上	患者体験調査					
	社会的な問題の解決	偏見の解消	28 （家族以外の）周囲の人からがんに対する偏見を感じる割合	1.9%	全国平均以上	患者体験調査					
基盤整備	がん教育とがんに関する知識の普及啓発の実施	がんの正しい知識が普及	29 「がんは、誰もがかかる可能性のある病気である」に対して「そう思う」と回答した割合	100%	100%	がん教育総合支援事業事業成果報告書					
			30 がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思うと回答した割合	91%	100%	がん教育総合支援事業事業成果報告書					
	がん登録の利活用の推進	がん登録情報が利用されている	31 がん情報を利用した市町村数	0市町村	全市町村数	県調べ					
	患者・市民参画の推進	患者や市民が参画	32 がん対策立案時に患者や多様な人が参画していること（がん対策推進協議会、部会等）	参画	参画	県調べ					